

8月6日(木曜日)モリメイトフィールド周辺の整備

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、上地、芝田香、芝田美、鈴木明、鈴木哲、中 計10名】

梅雨が明けてから猛暑日が続いており、作業開始の午前10時にはすでに30℃を超えていた。暑い日ではあったが、森林を抜けてくる風は爽やかで日陰を選んでの作業は心地よく感じられた。



モリメイトフィールドを流れる小川には、アメンボやメダカ、オタマジャクシ(春)、ヤゴなどの小動物が生息している。

川の流れが悪くなっていたので、川底の枯れ枝や草を取り除き、土砂をさらった。岸の草も刈り綺麗にした。以前より川の流れがよくなり気持ちのいい水の流れる音が聞こえるようになった。



刈ったところを眺めてはホット一息をつき、無理をせず、休みながらの草刈り。

草刈り機の音と蝉の音が交錯し森の中に響いていた。

軽トラック、ぬかるみにはまり立ち往生！



作業が終わっての帰り道、梅雨の長雨でぬかるんでいた轍に軽トラックのタイヤがはまって空回りし動かなくなってしまった。

みんなで押してみるが動かず、重いほうがいいということで荷台に女性4人が乗り男性5人が押すも動かず、ロープで引っ張りエンジンをつけるが動かず。

最後の手段、チルホールでやってみようということでビジターコテージまで取りに行き、トラックの先端部になぎ引っ張った。少しずつ動き出し脱出に成功！1時間ほどの脱出劇であった。



動いたー！



8月13日(木曜日)お盆休み



8月20日(木曜日)サギソウ 今が盛り・モリメイト会議

くぬぎの森・モリメイトフィールド周辺の草刈り

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

計10名】



今が盛りのころだろうと作業前にサギソウ園に行くことにした。サギソウ園のあちらこちらで純白の小さなサギソウの花が咲いていた。今年は去年よりも花数が多いのを見て年々増えていってくれそうと心も軽くモリメイトフィールドに向かった。

やり残していたモリメイトフィールドの小川の整備を行った。土砂をさらい、周辺の草も刈った。落ち着いた里山の風景が少しずつだが戻ってきていると感じた。

いつも通り、熱中症対策をしっかりとりながらクヌギの森、モリメイトフィールド周辺の草刈りを行った。



モリメイト会議議事録抜粋

第6回くぬぎの森作り(三重県緑化推進協会事業)について

- ・今年にはコロナ禍のイベントになるので参加者を20名に絞り実施
- ・備品の購入 幼齢木ネットの数を減らして出る経費でチャプスを購入(毎年1着ずつ購入していく予定)

8月27日(木曜日)モリメイトフィールド周辺の整備

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】

雨の予報であったが10時前はまだ降っていなかったため12名のモリメイトが集まった。雨が降ってきた時点で作業は止めることにし、作業道具を軽トラックに積み込みモリメイトフィールドに向かった。

男性陣は、それぞれの場所に散らばり草刈りを始めた。女性陣は、軽トラックを止めておく広場の整備を行った。土地が低く、雨が降るとすぐにぬかるんでしまうために、石を引いたり、チップを敷いたり、水を集めて流す溝を作ったりしてきた。今回はこの溝にたまった草や土を取り除き、周囲の草を刈る作業を行った。11時過ぎ雷が鳴りだし雨も降って来たので作業を止め、ビジターコテージに戻った。



